

2020年邦人被害概況

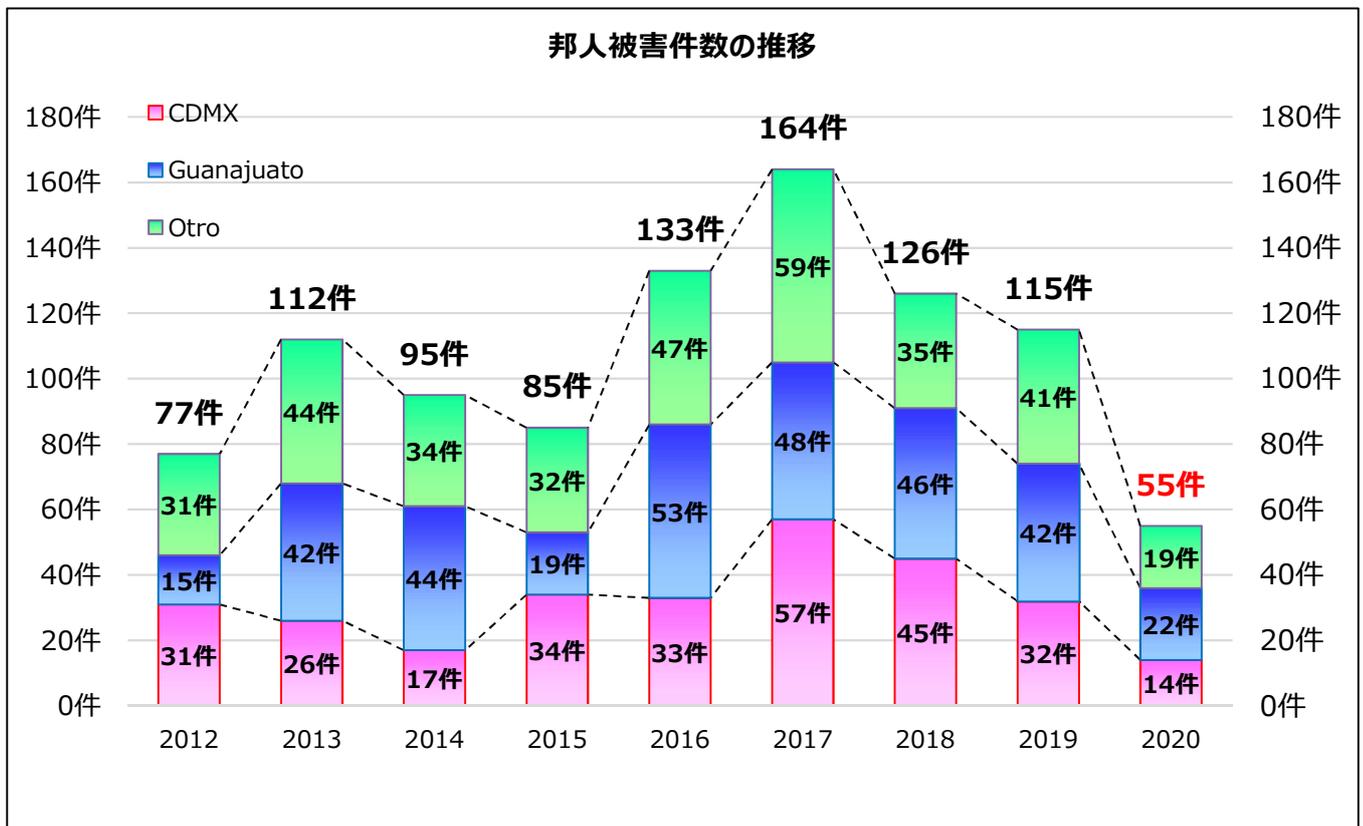
1 被害の特徴

(1) 全体的特徴

ア 2020年、在メキシコ日本国大使館及び在レオン日本国総領事館に届けられた邦人の犯罪被害件数は55件であり、2019年の115件と比較して大幅に件減少した。これは、新型コロナウイルス感染拡大防止のための各種活動制限等によるものと考えられる。

イ 罪種別では、最も多かった被害は窃盗の27件である。次に強盗被害が13件であり、窃盗と強盗で被害全体の約73%を占めた。全体の被害件数は減少したものの、強盗被害の割合が23.6%と約四分の一を占めていることから、引き続き十分な注意が必要である。

ウ 発生地域別では、メキシコ市が14件（前年比18件減）、グアナフアト州22件（前年比20件減）と、両地域における被害が全体の6割以上を占めている。その次に件数が多いのがケレタロ州及びキンタナ・ロー州の各5件である。



(2) 地域別特徴・傾向

ア メキシコ市

(ア) メキシコ市における14件の被害の内訳は、窃盗6件（置き引き4件、侵入盗1件、その他の手口1件）、強盗3件、詐欺3件、恐喝1件、偽札すり替え1件であった。

(イ) 窃盗被害は置き引きが多くを占めた。被害場所はレストランや屋外のベンチ等であり、所持品を荷物掛けや床上に置いていた際に被害に遭っている。

(ウ) 詐欺被害では、1月に米国人と名乗る犯人による詐欺被害が1件発生した。この手口は、「タクシーに荷物を忘れてしまいお金が無い。明日アメリカに帰国しなければならない。後で口座に振り込むので

お金を貸してほしい。」等と言葉巧みに被害者を信用させたうえ、現金を騙し取るといったもので、英語が話せる外国人旅行者（特に女性）を狙っているものとみられる2019年までは、観光地等において白人の男又は黒人の男により同一手口の犯行が複数回敢行されていたが、2020年は上記1月の被害以降、同種被害の報告はない。

その他、銀行員と名乗る犯人が、虚偽の振り込みやネットショッピングに対する返金を理由に被害者の携帯電話機に電話をかけ、返金手続きのために必要である等甘言を弄して被害者を騙し、他の口座に振り込ませる、銀行のアプリケーションのユーザー名やパスワードを聞き出して、アプリケーションを乗っ取り送金する、という被害があった。

(エ) 強盗は、夜間に信号待ちをしている被害者の車に近付き、けん銃で脅して財布や携帯電話機を奪うという手口が2件発生した。被害者は抵抗しなかったため、怪我等はしなかった。

イ グアナファト州

(ア) グアナファト州における被害は22件（前年比20件減）であった。

主な被害の内訳は、強盗8件、発砲2件、窃盗10件であった。

(イ) 強盗被害は、車両運転中に高架道路の下をUターンしようとして減速した際、信号待ちや渋滞時、給油時、パンク修理時に襲われている。また、閉店後のレストランを狙ったものや、車上狙いを敢行する被疑者を目撃した被害者が犯人ともみ合いになり、カバンを奪われたという被害もあった。8件の被害のうち、銃器利用は4件と半数を占める。被害者は抵抗しなかったため、怪我等の被害はなかった。

(ウ) 発砲を受けた被害は2件。被害者が運転中に対向車線の車からすれ違いざまに発砲された被害、前方を走行する不審な動きの車両を認め、追い抜こうとした際に発砲を受け、助手席のメキシコ人が被弾して負傷した被害であった。

(エ) 窃盗は10件中車上狙いが8件と大部分を占め、路上駐車時やレストラン等の駐車場利用時等に被害に遭っている。空き巣被害も2件発生した。

ウ その他の地域

発生地域別では、ケレタロ州及びキンタナ・ロー州が各5件、メキシコ州3件、ハリスコ州2件、アグアスカリエンテス州、サンルイスポトシ州、バハカリフォルニア州及びオアハカ州が各1件となっている。

2 被害の内訳等

(1) 届出件数

55件（前年比－60）

本集計は当館に届け出があった件数であり、昨年に比べ届出件数は大きく減少している。しかし、軽微な被害のために大使館に届け出をしていないケースがあることも考えられ、実際の被害件数はこれより多い可能性がある。

(2) 犯罪手口

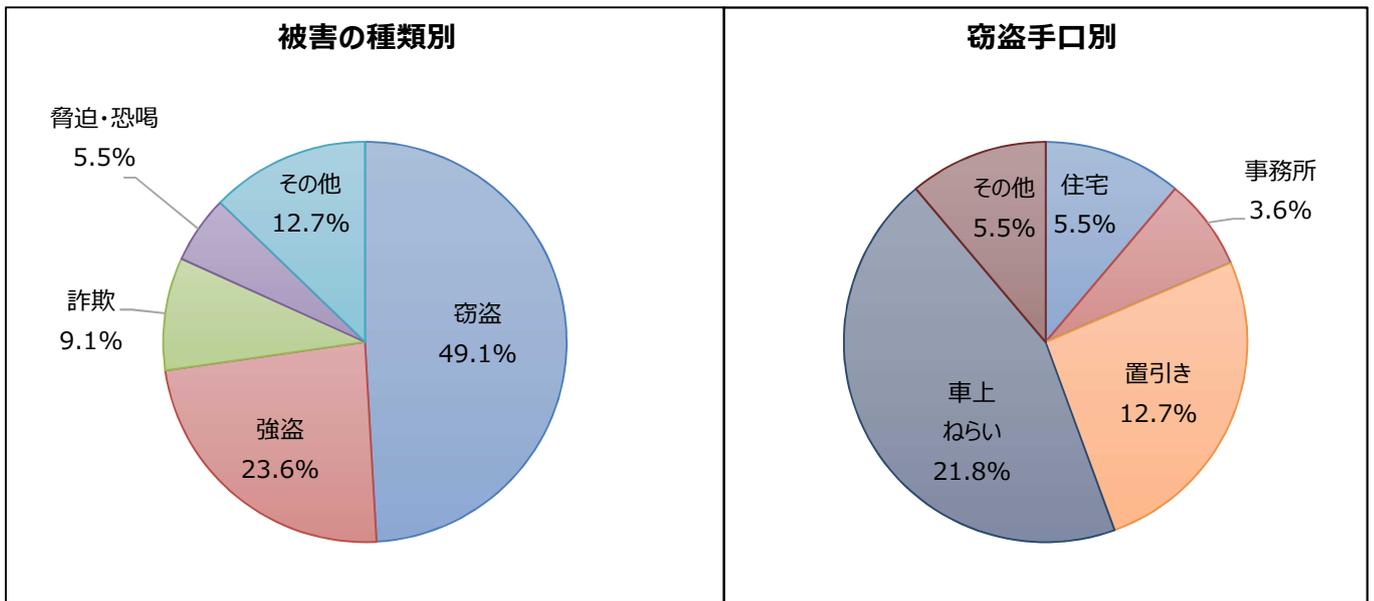
窃盗	27件（－33）
※うち、車上ねらい	12件（－11）
置引き	7件（－9）
空き巣等侵入盗	5件（－5）
その他窃盗	3件（－2）
強盗	13件（－19）
詐欺	5件（－4）

暴行・傷害（発砲を含む） 5件（+3）
 脅迫・恐喝 3件（-6）
 その他 2件（+1）

ア 強盗被害件数は13件、内凶器を使用したケースは12件で、けん銃使用は9件であった。被害発生時間帯別では日中4件、日没後9件であり、夜間発生の件数が多いものの、昼の時間帯にも被害は発生している。被害者が負傷したケースはなかったが、犯人に抵抗すると生命にかかわる危険な状況となる可能性が高いため、決して抵抗してはならない。

強盗の手口としては、自動車運転中の被害が多く、また駐車場や路上での被害も多く発生していることから、移動時には十分に注意する必要がある。

イ 窃盗被害は27件で、その多くが車上狙いや置き引きであるが、空き巣等侵入盗も5件あり、犯行中の犯人と遭遇した場合には非常に危険である。



(3) 発生場所別

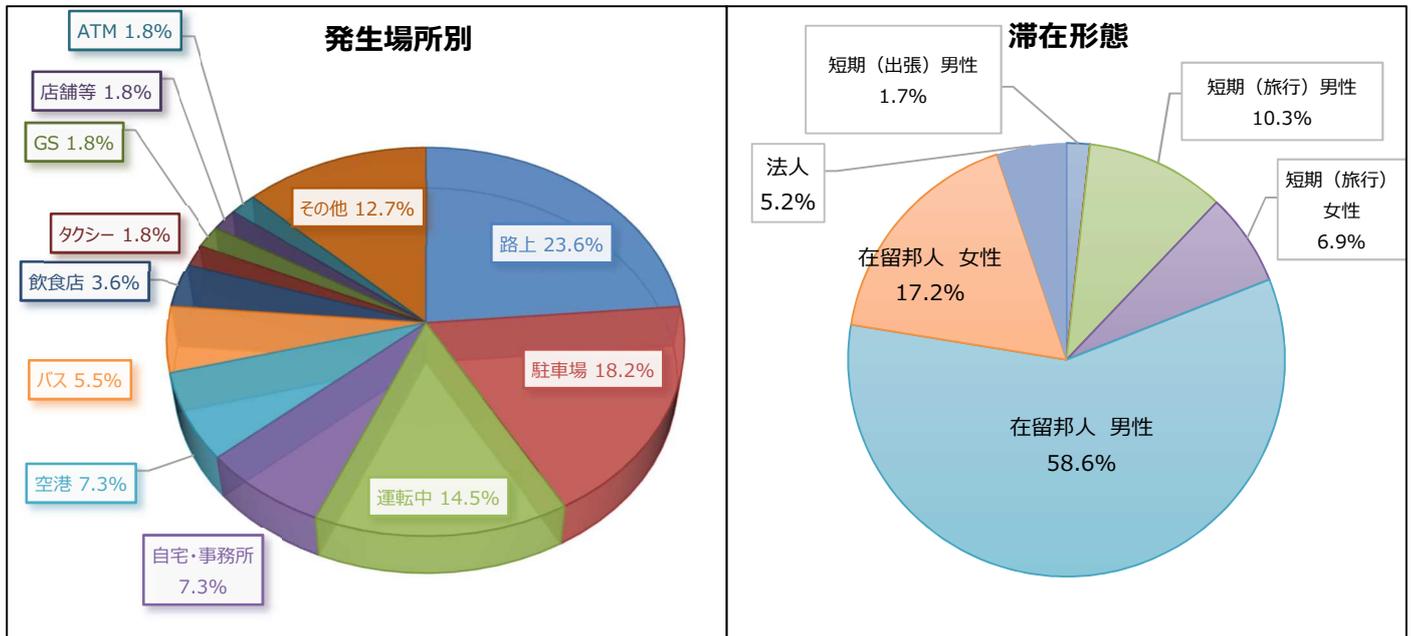
路上 13件
 駐車場 10件
 運転中 8件
 自宅・事務所 4件
 空港 4件
 バス 3件
 飲食店 2件
 タクシー 1件
 ガソリンスタンド（GS） 1件
 店舗等 1件
 ATM 1件
 その他 7件

4) 被害者別（複数被害者がいる場合もあるため、被害件数とは一致しない）

長期滞在・永住者 44名（-37） 男性：34名（-31）、女性：10名（-6）

短期渡航者（観光） 10名（-14） 男性：6名（-7）、女性：4名（-7）
 短期渡航者（出張） 1名（-19） 男性：1名（-18）、女性0名（-1）
 法人 3件

短期渡航者（出張）の被害件数が大きく減少した。



被害の詳細については、「邦人被害一覧（2020年）」をご参照ください。（被害者から掲載許可を得たもの）